

令和3年度 指定管理者制度導入施設モニタリングシート

●施設概要

施設名	古河市ネーブル子育て広場(ヤンチャ森)	施設所管課	子ども福祉課		
指定管理者名	一般財団法人 古河市地域振興公社	指定期間 (評価実施年)	平成31年4月1日	～	令和4年3月31日
			(指定期間	3年	のうち3年目)
施設設置目的	3歳未満の児童等に健全な遊び及び創造的な体験並びに交流の場を提供するとともに、その親に対し、子育てに関する情報及びコミュニティの場等を提供する為に設置する				
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する情報提供及び相談に関する事業 ・親子同士の交流、語り合い、遊び場の提供に関する事業 				

●実績報告

開館・開園日数	利用人数 (人)	利用団体数 (団体)	減免数 (件)	指定管理料 (円)	指定管理者の収支状況			備考
					収入【A】(円)	支出【B】(円)	差引【A-B】(円)	
284	8,852			22,971,000	23,018,368	23,325,115	△306,747	

●管理運営状況

項目	評価基準(評価の観点)	評価内容				
		自己	指定管理者コメント	所管課	所管課コメント	
1. 団体の能力	団体の安定性	安定した運営ができる財務状況である	A	○ネーブルパークや古河総合公園、中央運動公園温水プールなど他の指定管理施設同様に、条例・仕様書等の規定を遵守し、設置目的に沿った管理運営を行いました。財政面でも健全であります。	A	類似施設である「ファミリーサポートセンター」や他の公共施設の指定管理業務について、安定して運営している。施設の設置目的や役割を理解した事業運営をしている。
	団体の信頼性	類似施設の管理実績が良好である				
	基本方針	市の計画や条例における施設の設置目的や役割を理解している 指定管理者としての責務を認識し、真摯に事業に取り組む姿勢がある				
2. 管理運営の基本事項	公平性の確保	誰もが平等・公平に利用できる仕組みづくりがされている	A	○利用時間・開館日は条例・協定書を遵守していますが、令和3年度は新型コロナ対応のガイドラインに則り、通年を通して時短営業となりました。 ○定期清掃やメンテナンス等で臨時休館する際には、市の承認を受けたのち、広報誌への掲載とホームページやLINEなどのSNSにて配信し、事前に利用者への周知を行いました。	A	仕様書及び協定書の内容(利用時間、開館日等)を遵守した運営ができています。 保守管理上、変更が必要な場合には、事前に市の承認を得て、利用者に周知を図っている。
		・利用時間・開館日は協定書を遵守している				
		・利用時間・開館日・事業内容等の周知は的確である ・予約方法・受付方法は的確である				
	苦情・要望の把握と対応	利用者の意見・要望の把握とその反映の方法は的確である トラブル発生時の対応策や未然防止策が検討されている	A	○利用者アンケートの実施及び、意見箱を設置する事で、利用者からの様々な意見の収集に努めました。 ○定期的に玩具の入れ替えや絵本を追加すると共に、手作りおもちゃも取り入れ、飽きがないよう工夫しました。	A	利用者アンケートの実施及び意見箱の設置により、利用者の意見を収集し、要望を把握したうえで、可能なものは迅速に対応しており、利用者もおおむね満足している。
		・苦情・要望の把握方法・対応が明確になっている				
		・苦情・要望内容、対応についてきちんと記録されている ・より多くの意見を集められるよう工夫が図られている ・利用者が気持ちよく利用できるよう工夫が図られている				
	情報管理	個人情報保護や業務上知り得た秘密の漏洩防止策が講じられている 情報公開への対応は的確である	A	○情報管理や危機管理に関しては、マニュアル、規定に従って行動するよう徹底してまいりました。 ○SNS(LINE 公式アカウント)に掲載する写真等に関しては、利用者の個人情報が保護されるよう細心の注意を払いました。	A	古河市地域振興公社の「個人情報保護マニュアル」および「情報公開実施規程」に基づき、個人情報等の情報管理は適切に行われた。
		・業務上知り得た秘密や個人情報の適切な管理方法について定めた個人情報保護マニュアルが策定、更新されている				
		・情報管理について職員に意識付けされており、マニュアル通り運用されている ・情報公開規程が策定されている				
利用者の安全確保	日常から利用者が安全に利用できるよう、事故防止、防犯、防災などきめ細かい安全対策が講じられている	A	○利用者の安全を確保する為、危険な物が落ちていないか、子どもが危険な遊び方をしていないかなど、館内の見回りを慣行しました。 ○日常的な安全点検を行い、記録しました。また、既存の緊急時マニュアルについて、職員への周知徹底を図りました。 ○既存の危機管理マニュアルの整備、及び職員への周知徹底を図りました。	A	利用者に危険がないよう点検や館内の見回りを適切に行っている。避難訓練も適切に実施している。新型コロナウイルス感染防止についてガイドラインを策定し、適切に対応している。	
	・日常的に必要な安全点検を行っている					
	・緊急時の行動規範(マニュアル)が策定・更新されている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・最低年1回の避難訓練を実施している					
危機管理体制	事故、災害など緊急時において適切な対応ができるような体制がとられている	A	○非常口の表示や、必要な避難経路の確保をしています。 ○消防法に基づく避難訓練及び、水防法に基づく水害を想定した避難訓練を行いました。	A	緊急時の対応について職員へ周知されている。また、非常口の表示や避難経路の確保についても実施されている。	
	・危機管理マニュアルが策定、更新されている					
	・危機管理マニュアルが職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・非常口の表示がされており、避難経路が確保されている					

3. 管理運営体制	人員体制	管理運営内容と整合した職員体制がとられている 必要な資格、専門的な知識を持った職員が配置されている 人件費の設定は適切である	A	○保育士等の資格を持つ人員、経験のある職員を中心とした打ち合わせを行い、情報・意識の共有を図り運営に支障のないように努めました。	運営に必要な資格、専門的な知識を持った職員を確保し、適切に配置している。	
		・業務遂行のための適切な職員体制がとられている ・業務遂行に必要な資格を持った職員を確保しており、適正に配置している ・勤務時間・賃金・雇用等において労働基準法等関連法令を遵守している		○勤務時間、賃金等において、関連法を遵守し、適正な職員体制をとっています。		
	人材育成	職員の育成、資質向上のためのきめ細やかな取組が実施されている	A	○ブレママ・ブレパパ向け講座のオンライン研修に参加し、職員の資質向上に努めました。		計画的に研修を実施し、職員の資質及び技術向上に努めている。
		・職員の育成、資質向上のための研修を実施している ・職員の技術向上のための研修を実施している ・利用者に対して気持ちの良い対応をしている		○必要に応じて利用者とのコミュニケーションを行い、親しみやすい施設作りに努めました。 ○開館時、閉館時の清掃を徹底し衛生的な環境づくりに努めました。		
施設の維持管理	施設の機能維持、物品管理の方策は適切である	A	○新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、施設内清掃消毒及び玩具消毒を一日二回行い、利用者が安心して利用出来るように努めました。	施設の老朽化した部分を適切に修繕し、利用者の安全確保に努めている。		
	・施設を清潔で衛生的に保っている。 ・施設の機能維持に必要な保守点検業務を実施している ・修繕が必要な箇所や危険箇所を早期に把握できるような体制がとられている ・法定点検を実施し、遅滞無く市に報告している ・備品を良好に保ち、備品台帳で適切に管理している		○定期清掃や保守点検を実施し、施設の機能維持に努めました。			
業務委託	再委託の業務範囲、委託方法及び委託先は適切である 再委託業務の成果確認の方法は適切である	A	○メイン空調 2 系統のうち 1 系統が復旧困難となった為、同等能力を補う壁掛エアコン(4 台)を設置しました。		再委託の際には事前に市の承認を受け、経費削減となる長期契約とするなど契約方法を工夫している。	
	・委託先を決める際に数社から見積もりをとるなど、委託方法及び委託先は適切であり、事前に市の承認を受けている ・再委託業務の成果確認を実施している		○専門性の高い業務等は、事前に古河市の承認を受けてから再委託を行うと共に、業者からの報告及び各種報告書の提出を受け、成果確認を行っています。			
4. 施設の効果的活用	広報・PR	利用者の増加を図るための広報計画や数値目標が適切である 魅力的なサービスや利便性向上につながる提案がなされている	A	○ホームページ・SNS(LINE 公式アカウント)にて様々な情報の発信を行いました。		新型コロナウイルス感染防止のため利用人数の制限を設けつつ、その中でできることを企画し、適切に施設活用をしていた。コロナによる閉館中においても、家庭で楽しめる SNS を活用した情報発信を積極的に行っていた。
		・各種媒体を利用した利用促進の取り組みを実施している ・利用促進の取り組みの成果を把握している		○子育て広場のチラシを庁舎及び公社施設へ設置しました。また、ホームページや SNS でのPRを行いました。		
施設の活用	施設の利用拡大のための事業、または自主事業の取組が検討されている。	A	○イベント周知が難しい中ではありましたが、周知はせずに季節のイベント(夏まつり・クリスマス会など)を行い、利用者に喜んでいただけました。	A		
	・魅力的な企画やイベントの実施により、利用者数や稼働率に効果がみられる					
5. 効率性	経費削減・収支バランス	経費節減のための方策は、無理がなく実現可能なものである 設定額(サービスとコストのバランス)は妥当である	A		○利用料収入は、当初予算では 81,000 円を見込んでいましたが、コロナの影響により、最終的に 22,200 円にとどまりました。	必要な修繕が行われており、適切な執行となっている。会計管理は適切に行われている。
		・利用料金収入は当初見込みと乖離していない ・修繕費は適切に執行されている(過剰な剰余金はない) ・収支計画書の範囲内で適正に予算を執行している ・指定管理に係る会計は、団体自体の会計と区別した管理をしている ・経費削減は施設機能の低下等なく実施されている			○ネーブル子育て広場に関わる会計は、他施設と区別して行っております。	

【評価基準】

SS	優良:仕様書等の業務要求水準を上回る効果的・画期的な取組により、優れた成果があったもの【コメントに取組内容・効果の具体例を記入】
S	良:仕様書等の業務要求水準を上回る取組がされているもの【コメントに取組内容の具体例を記入】
A	普通:仕様書等の業務要求水準どおりに行われているもの
B	不十分:仕様書等の業務要求水準に達しておらず、さらなる努力・改善が必要なもの
C	不備:仕様書等に基づく実施すべき事項が履行されておらず、指導や事業内容の見直しが必要なもの

●総括評価

指定管理者	1年間の自らの管理運営状況、施設の実績等を評価し、翌年度の課題等があれば記入してください。	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館や入場制限・利用制限を設け、適切に運営しました。閉館中は1時間ごとの換気、消毒の徹底など、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めました。利用制限中の対応として順番待ち受付を導入し、少しでも多くの方が利用出来るよう努めました。臨時休館時には自宅で作れる製作物を入口へ設置し、広場に遊びに来た利用者へ配布しました。また、広場の様子や自宅でも楽しめる情報を、SNS(LINE公式アカウント)で随時発信しました。イベントにつきましては、コロナ禍で様々な制限がある中、大規模な告知はしませんでした。夏まつり、ハロウィン、クリスマス会を行い、利用者楽しんでいただきました。修繕につきましては、非常灯器具交換、子どもトイレ洗浄管交換、フロアマットの張替えなどを行ったほか、復旧困難となったメイン空調1系統を壁掛けエアコン(4台)に更新するなど、安全の確保や快適空間の維持に努めました。翌年度以降の課題は、まずは今後のコロナ対策が考えられます。どのように状況が変化していくかわかりませんが、施設・設備、運営方法などの検討が必要と思われます。つぎの課題として施設の老朽化が挙げられます。今後、大規模修繕等について改めて協議させていただきたいと存じます。</p>
所管課	事業報告書の内容、利用者アンケート及び実地調査の結果等を多角的に評価し、指定管理者制度導入の効果を検証してください。	<p>利用者からの要望に対し、時間的・予算的に可能な範囲内で迅速に対応し、利用者目線に立った運営がなされており、利用者アンケートの結果も高い満足度を得ている。施設の管理面においては、換気、消毒などのコロナ対策を徹底し、また、日常的な点検により経年劣化による危険箇所を把握し、適切に修繕を行い、利用者が安心できる環境づくり及び安全確保に努めている。さらに、SNSを積極的に活用した情報発信や、利用者が参加しやすいイベントの開催など、利用促進、サービス向上に努めるなど、施設の設置目的や役割を理解した魅力ある施設づくりに真摯に取り組む姿勢を高く評価する。</p>